

2018年度
記念国際シンポジウム

日本研究の課題と展望
文学・言語・社会

2018年12月15日(土) 09:00~18:00
輔仁大学徳芳外語大樓(新北市新莊区中正路510号)

基調講演

・国際的共同研究の可能性と課題

和田 博文 (日本東京女子大学教授・日本昭和文学会代表幹事)

・時間表現の多様性と普遍性について

佐久間 淳一 (日本名古屋大学教授兼文学部・人文学研究科長)

論文発表

西 幸子 (日本福岡大学特別選抜研究員)
騎馬民族征服王朝説と古墳時代の馬具

小澤 尚平 (日本福岡大学博士後期課程)
南北朝期の幕府と九州探題——日本南北朝期の幕府與九州探題

柳原 暁子 (日本北九州市立松本清張記念館)
時空を超えて——糸山秋子「離陸」論

坂元 さおり (輔仁大学副教授)
船戸与一『蝦夷地別件』論
—「アイヌ最後の戦い」を「ハードボイルド」はどう描くか—

黄 馨儀 (中国文化大学助理教授)
NHK朝の連続テレビ小説の台湾受容:『あさが来た』を中心に

游書昱 (日本名古屋大学博士後期課程)
『新青年』、男の化粧、そしてモダン・ボーイ

下岡 友加 (日本広島大学准教授)
『台湾愛国婦人』掲載・英塘翠「生蕃お伽噺」考

曾 秋桂 (淡江大学教授)
エコフェミニズムの視点から読む村田沙耶香の『コンビニ人間』
—学習型の人工知能AI的主人公の誕生について—

葉 斐 (淡江大学助理教授)
村上春樹文学における自己への追求

仁平 道明 (日本東北大学名誉教授)
フィクションにおける時間の設定—『竹取物語』『源氏物語』を中心に—

李 美淑 (韓国SEOUL大学校客員研究員)
『土佐日記』と『蜻蛉日記』における「今日」という時間表現

佐藤 敬子 (日本横浜市立大学看護短期大学元非常勤講師)
時間を超えた教訓—『沙石集』における『竹取物語』引用—

中村 祥子 (輔仁大学副教授)
『更級日記』における「天喜三年十月十三日」という時間
—時間を遡って記される記事の意味について—

木下 華子 (日本ノートルダム清心女子大学准教授)
『方丈記』の時間—「朧化」をめぐる—

戸田 哲也 (景文科技大学助理教授)
「日本人論」の70年——「集団主義」説をめぐる言説の変遷

小針浩樹 (輔仁大学副教授)
形容詞文の時間性と行為性

横路 明夫 (輔仁大学副教授)
新海誠作品における時間感覚—初期三作から『君の名は』へ—

野松 循子 (日本西南学院大学非常勤講師)
『虚空遍歴』と『龍の棲む家』の時間観にみる文学姿勢

齋藤 正志 (中国文化大学副教授)
(時間)の旅、その廻行と循環—川上弘美「墓を探す」における「もとどぎす」の役割—

王 琪 (日本九州大学博士後期課程)
日本語逆接表現「でも」と共起する表現についての一考察—会話の分析から—

住田 哲郎 (日本京都精華大学専任講師)
テイル・テイク・テクルの類義性に関する一考察

落合 由治 (淡江大学教授)
マルチモーダル領域における日本語研究の未来展望—AI自然言語処理研究への接続の
観点から—

盧 姪鉉 (韓国徳成女子大学校助教授)
韓国の大学の教養課程における日本事情教育の現状と課題
—ソウル所在の4年制大学の事例を中心に—

勝又 基 (日本明星大学教授)
台湾から見える日本文学研究の新たな景色——日本、米国の現状と比較して

馮寶珠 (輔仁大学副教授)
初級日本語教科書における依頼表現の一考察

梁 乃允 (韓国中央大学校非常勤講師)
日本語学習者の丁寧体の話しことばにおけるノダの使用様相
—書きことばとの比較を通じて—

李 桂芳 (大葉大学助理教授)
教学ビデオの制作を取り入れた会話クラス

ポスター発表

池田 純 (日本拓殖大学博士後期課程)
多義性を持った漢語についての考察—「結構」「適当」「大丈夫」を例に—

許 夏珮 (東呉大学副教授)
絵本の朗読による台湾人児童の日本語習得

徐 孟鈴・何 宜庭 (銘伝大学副教授・修士課程)
アニメ・アフレコを大ニ会話に導入する試み

張 彩薇 (日本京都大学博士前期課程)
1950年代日本における台湾認識

林 淑璋・吳 翠華・鄧 進宏・余 耀佳・唐 嘉鋒 (元智大学副教授・学生)
初級日本語会話練習教材試作—ARと音声認識APIの活用

徐 翌 (日本神戸大学博士後期課程)
日本SFの浸透と拡散—SF同人誌を中心に—

陳 冠霖 (日本大阪大学博士後期課程)
台湾人日本語学習者と日本語母語話者による聴覚自然性評価の差異
—フィラー、ポーズ、発話速度を加工した合成音声を利用して—

林 曉淳 (世新大学助理教授)
「AI」の知識を導入した日本語授業の実践—日本のアニメを利用して—

陳 熾如 (静宜大学助理教授)
日本語と中国語における数量表現に関する研究
—日本語学習者による数詞「一」の使用を中心に—

齋藤 敬太 (日本津田塾大学非常勤講師)
方言理解支援ツール『東北地方の外国人住民のための「くらしの方言集」』の多言語
訳から見た翻訳上の問題点
—東北方言と6言語の対照研究を通して—

神作 晋一 (南台科技大学助理教授)
丁寧体否定形式「～ませんです」の動向—国会会議録検索システムを例として—

林 蔚榕 (東呉大学助理教授)
「おもてなし」の可視化について

林 暉恩 (銘伝大学修士課程)
台日初級華語教科書分析—以語彙、語法以及會話情景為中心—

